

(様式1：監理委員会への報告)

民間事業者による対象公共サービスの実施状況

独立行政法人 大学入試センター
平成24年5月21日

1 対象公共サービスの内容

大学入試センター試験の出願受付業務・成績開示業務

2 対象公共サービスの内容

大学入試センター試験（以下「センター試験」という。）における出願受付業務は、約55万人のセンター試験受験志願者（以下「志願者」という。）の出願受付、志願票のデータ化、受験票の発送、全国約740箇所の試験場（約8,800試験室）の試験実施に係る資料等の作成までの一連の作業を行う。また、この業務に付帯して、試験室データの作成、受験案内の印刷、センター試験利用大学等への受験案内の送付、出願関係書類の廃棄を行う。

3 確保すべき対象公共サービスの質の確保の状況

	平成23年5月～平成24年4月	
	確保すべき対象公共サービスの質	実績
実施民間事業者名	教育測定研究所 共同事業体	
(1) 出願受付業務		
① 受験案内の印刷・送付作業	印刷・製本・梱包・送付を仕様書どおりに行うこと。	仕様書どおりに印刷し、製本、梱包、送付できた。
	送付に当たり、指定の場所、部数、期日を厳守すること。	指定の場所、部数、期日を厳守し送付できた。
② 試験室データの作成作業等	仕様書に示す規格どおりにデータ化すること。	仕様書どおり実施できた。
	初回納品時の誤入力率を2%以内とすること。	誤入力率0.01%で作業できた。（誤入力数1件／総入力数10,042件）
	センターの点検によって指摘された誤りをすべて修正すること。	指定どおり修正できた。
	実施計画に定めるスケジュールを厳守すること。	スケジュールどおり実施できた。
③ 出願関係郵便物の確認・搬入作業	実施計画に定めるスケジュールを厳守すること。	スケジュールどおり実施できた。
	郵便物の開封、汚損、紛失、盗難がないこと。	郵便物の開封、汚損、紛失、盗難はなかった
	郵便物の通数確認について、誤りがな	計画通り実施された。

④ 出願の受付作業	実施計画に定めるスケジュールを厳守すること。	スケジュールどおり実施できた。
	仕様書に記載されている、民間事業者が処理すべき、志願票等については不備を解消すること。	すべて不備を解消した。
	仕様書に記載されている、センターに回送すべき志願票等については、漏れなくセンターに回送すること。	回送すべき志願票等については、漏れなく回送された。
	志願票等の汚損、紛失、漏洩、盗難がないこと。	汚損、紛失、漏洩、盗難はなかった。
⑤ 志願票のデータ化作業	仕様書に示す規格どおりにデータ化すること。	仕様書どおりデータ化できた。
	実施計画に定めるスケジュールを厳守すること。	スケジュールどおり実施できた。
	初回納品時の志願票データについては誤入力率を2%以内とすること。	誤入力率を2%以内で作業できた。 ○初回納品時の志願票データA実績1.25%（誤入力数7,066件／総入力数563,416件） ○精査用志願票データB実績1.03%（誤入力数5,810件／総入力数563,416件）
	確認はがきの印刷・印字出力を仕様書どおりに行うこと。	仕様書どおり印刷・印字出力できた。
	志願者からの修正指示に基づく志願者データ更新について、センターの点検によって指摘された誤りをすべて修正すること。	指摘どおり修正できた。
	志願票、志願者データ及び確認はがきデータの汚損、紛失、漏洩、盗難がないこと。	汚損、紛失、漏洩、盗難なく実施できた。
⑥ 受験票等の印刷・印字及び発送作業	受験票の印刷・印字出力及び「受験上の注意」の印刷を仕様書どおりに行うこと。	試験制度の変更に伴い、実施要項Ⅹ.3.(14)に基づき、仕様の変更を行った。
	センターに回送すべき受験票を漏れなくセンターに回送すること。	センターに回送すべき受験票は漏れなくセンターに回送された。
	実施計画に定めるスケジュールを厳守すること。	スケジュールどおり実施できた。
	受験票及び受験票データの汚損、紛失、漏洩、盗難がないこと。	受験票及び受験票データの汚損、紛失、漏洩、盗難はなかった。
⑦ 試験実施に係る資料等の印刷・印字作業	印刷・印字出力を仕様書どおりに行うこと。	試験制度の変更に伴い、実施要項Ⅹ.3.(14)に基づき、仕様の変更を行った。
	実施計画に定めるスケジュールを厳守すること。	スケジュールどおり実施できた。
	試験実施に係る資料等及びセンターから受領したデータの汚損、紛失、漏洩、盗難がないこと。	試験実施に係る資料等及びセンターから受領したデータの汚損、紛失、漏洩、盗難はなかった。

⑧ 出願書類等の廃棄作業	センターから受領した出願書類等を仕様書どおりに廃棄すること。	仕様書どおり廃棄できた。
	実施計画に定めるスケジュールを厳守すること。	スケジュールどおり実施できた。
(2) 成績開示業務		
① 成績開示変更届のデータ入力作業	仕様書に示す規格どおりにデータ化すること。	仕様書どおりデータ化できた。
	実施計画に定めるスケジュールを厳守すること。	スケジュールどおり実施できた。
	初回納品時の成績開示変更届データの誤入力率を2%以内とすること。	誤入力率を2%以内で作業できた。 ○初回納品時の成績開示変更届データA実績1.40%（誤入力数21件／総入力数1,501件） ○精査用成績開示変更届データB実績1.40%（誤入力数21件／総入力数1,501件）
	成績開示変更届及び成績開示変更届データの汚損、紛失、漏洩、盗難がないこと。	成績開示変更届及び成績開示変更届データの汚損、紛失、漏洩、盗難はなかった。
② 成績開示に係る通知書の作成・発送作業	成績開示通知書の印刷・印字出力を仕様書どおりに行うこと。	仕様書どおりに印刷・印字出力できた。
	実施計画に定めるスケジュールを厳守すること。	スケジュールどおり実施できた。
	センターに回送すべき上記成績開示通知書を漏れなくセンターに回送すること。	センターに回送すべき成績開示通知書を漏れなくセンターに回送された。
	印刷・印字出力した成績開示通知書の汚損、紛失、漏洩、盗難がないこと。	出力汚損、紛失、漏洩、盗難なく印刷・印字出力できた。

3 対象公共サービスの実施に要した経費

	平成23年5月～平成24年4月
実施民間事業者名	教育測定研究所 共同事業体
支払額	189,191,563円
(参考) 落札金額	175,855,576円

次の契約変更により、落札金額に対して、支払額が13,335,987円増加した。

- 平成24年度大学入試センター試験における試験実施方法の変更を、受験者に周知する必要から「受験上の注意」のページ数を増加（12頁→20頁）した。（2,711千円の増）表中(1)の⑥関係
- 「受験上の注意」が信書に該当し、ゆうパックでの送付ができないことが判明したため、簡易書留郵便による送付に切り替えた。それに伴い送付用封筒の作成費用が発生した。（1,659千円）表中(1)の⑥関係
- 上記1及び2の変更に伴い郵便料金が増加した。（3,016千円）表中(1)の⑥関係
- 平成24年度大学入試センター試験において試験実施方法が変更されたことに伴い、受験票のレイアウトを変更する必要が生じたため、印字プログラムを修正した。（903千円）表中(1)の⑥関係
- 平成24年度大学入試センター試験において試験実施方法が変更されたことに伴い、受験状況調査票（A票）の仕様を変更する必要が生じた。さらに、新たに、問題冊子配付確認表の作成が必要となった。（5,047千円）表中(1)の⑦関係